

オオタバコガの発生が多くなっています！

圃場をよく観察し、若齢幼虫のうちに防除を徹底しましょう。

オオタバコガ（写真 1）は広食性であり、野菜類、花き類、大豆等多くの作物や雑草を加害する害虫です。本虫は 7 月下旬から発生量が増加する傾向があり、幼虫による農作物への被害拡大が予想されます。圃場をよく観察し、若齢幼虫のうちに防除を行いましょう。

[現在の状況]

- ① 7 月第 1 半旬までのフェロモントラップへの雄成虫の総誘殺数は、笠間市および龍ヶ崎市で平年より多く、坂東市で平年よりやや多い～多く、水戸市および筑西市で平年よりやや多く、土浦市で平年並～やや多い（図）。
- ② 気象予報によると、向こう 1 か月の気温は平年より高いと予想され、発生を助長する条件である。

[防除対策]

- ① 施設栽培では、ハウスの開口部に防虫ネットを設置して成虫の侵入防止に努める。
- ② 幼虫の齢期が進むほど薬剤に対する感受性が低下し、中齢幼虫になると茎や蕾、果実や結球内に食入するため、薬液がかかりにくくなる（写真 2）。このため、食入前の若齢幼虫のうちに防除を行う。
- ③ 薬剤散布は、薬液が葉裏や茎、株元にもよくかかるよう十分な量で丁寧に行う。また、複数回散布する場合は、薬剤抵抗性の発達を抑えるため、IRAC コードの異なる薬剤をローテーション散布する。
- ④ 病害虫防除所ホームページに、フェロモントラップの誘殺状況を公開しているので参考にする。

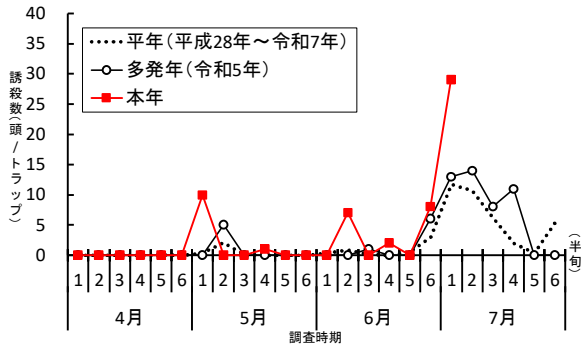


写真 1 オオタバコガ老齢幼虫（体色は淡緑～褐色と個体差が大きい）

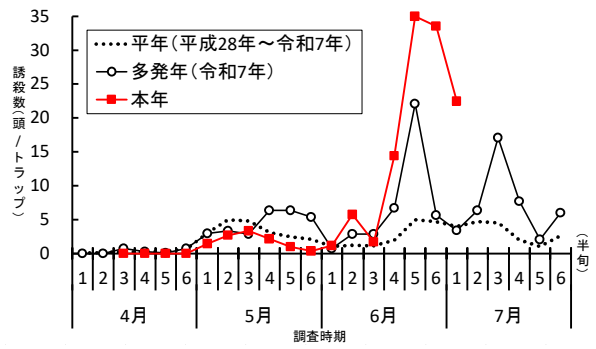


写真 2 ナス果実に食入するオオタバコガ幼虫

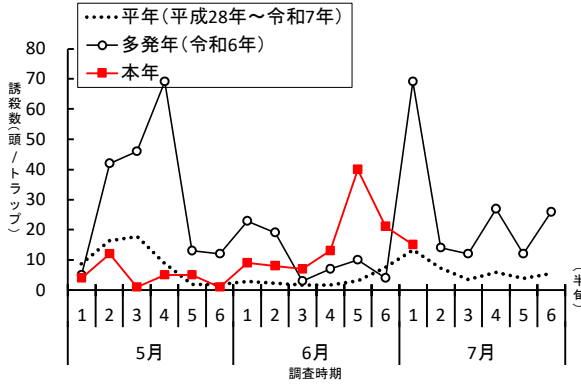
笠間市（園芸研究所）



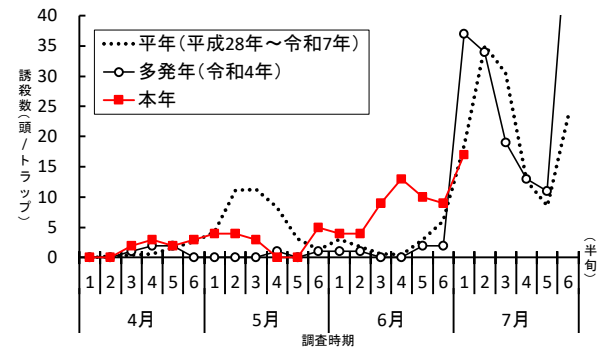
龍ヶ崎市（農業研究所 水田利用研究室）



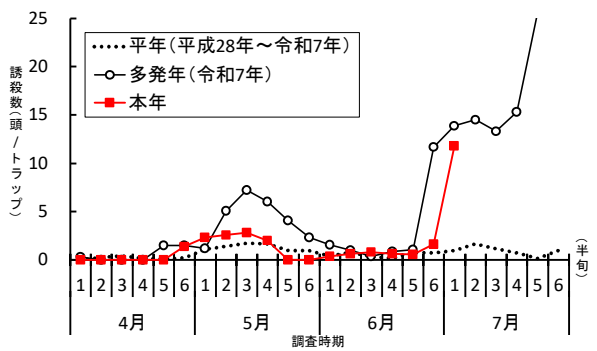
坂東市



水戸市（農業研究所）



筑西市（筑西合同庁舎）



土浦市（土浦合同庁舎）

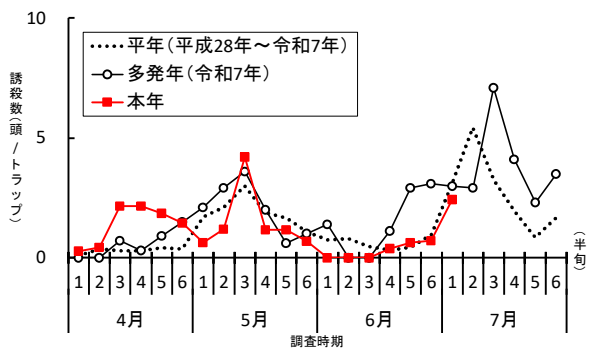


図 フェロモントラップによるオオタバコガ雄成虫の誘殺状況